

合唱コンクールで学んだこと

2年生（女子生徒）

7月の合唱コンクール。体育館は湿気が多く、暑いのと緊張で、額にはどんどん汗が出てきます。他のクラスの合唱は、すごく音程が合っていてとてもきれいに響いていました。最初から最後までみんな指揮者の方を向いて歌っていて、すごいと思いました。私はますます緊張しながら、待っている間にこれまでのことを思いました。放課後や昼休みに全員で練習したこと、家でも音程を確認したり歌ってみたりしたこと。練習どおりの歌声が出せるか心配でしたが、指揮者の手の動きをじっと見ているうちに、みんなの心が一つになっていくような気がしました。歌い終わったときには一気にほっとすると同時に、改めて私は金賞をとることよりも大切なことに気づきました。それは、自分たちが選んだ合唱曲のもつメッセージを、指揮者と伴奏者とみんなが心をつなげて、聴く人に届けようと頑張って歌ったことです。コロナ禍での合唱コンクールで、練習は大変でしたが、みんなが歌えて本当に良かったです。